

講習名	幼稚園教育における保育内容の充実 - 子どもを取り巻く環境の変化を踏まえて -	
時間数	18時間	
受講対象者	幼稚園教諭	
担当講師	三宅 一郎、福田 規秀、半田 結、日坂 歩都恵、杉田 律子、 崎元 りずみ、永井 夕起子、柳楽 節子	
講習の概要	講習Ⅰ	<p style="text-align: center;">乳幼児期の「運動遊び」を考える</p> <p>運動動作の獲得は児童期の中期にほぼ完了します。その意味からも、運動遊びは幼児期において大切な活動となります。発育発達段階に応じた運動遊びの実践方法を共に考えてみましょう。</p> <p>『楽しい運動遊び』を実際に体験し、子どもの頃の気持ちを思い出して見てください。運動嫌いや苦手な子どもを作らない為にはどのような実践方法が良いのか、改めて考えてみましょう。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：三宅 一郎〕</p>
		<p style="text-align: center;">子どもと音楽表現</p> <p>童謡や日本の唱歌を歌詞や旋律を生かした表現で歌います。また、小物楽器やトーンチャイム、ミュージックベルを使い、楽器の響きや特性を知り、楽しく演奏します。保育現場で、音楽を通して子どもたちの豊かな感性を育むことに繋がっていかれたらと思います。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：崎元 りずみ〕</p>
		<p style="text-align: center;">子どもと身体表現</p> <p>童謡の歌詞を使って演じたり、絵本の言葉から歌を創って踊ります。日常的に保育で活用している童謡や絵本を、既成概念に捉われず自由に楽しみましょう。また、言葉のコミュニケーションに体の動きを付けたり、言葉は使わず体の動きや楽器のリズムだけでコミュニケーションを取ったりして、全身を使ったセッションを楽しみます。毎日の生活をもっとリズムカルにおくるためのエッセンスを体験しましょう。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：永井 夕起子〕</p>

講習の概要	講習Ⅱ	子どもの健康と幼児教育
		<p>幼稚園教育要領の改訂に基づいて、保育の中で主体的・対話的な学びを深めることが求められています。幼稚園教育要領に位置付けられている内容・方法について、保育の実践ではどのようなことが考えられるのか、今後の幼稚園教育の課題は何か、などについて、一緒に探っていきましょう。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：日坂 歩都恵〕</p>
講習の概要	講習Ⅲ	障害理解と合理的配慮
		<p>特別支援教育においては、保育者が障害のある子どもを理解し適切な支援を行うと同様に、クラスの子どもに対して障害について適切な説明をし、支援していくことが大切です。</p> <p>そこで、本講習では子どもの発達過程について改めて理解を深めるとともに、障害の基礎的事項を学んで障害理解を目指すとともに、子どもたちの障害理解を促進するための教育方法を学び、事例を通して支援の在り方について考えることを目的とします。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：杉田 律子〕</p>
講習の概要	講習Ⅲ	乳幼児期に育みたい資質・能力の明確化とその実践について
		<p>少子高齢化が進む中、日本の存在感の低下が懸念されたり、グローバル化や情報化の進行により、職業等のあり方も現在とは比較にならないような変貌を遂げるかもしれないと言われています。幼児教育・保育の世界では、こうしたことに対処できるよう、子どもたちの日常生活の中で、生きる力の基礎を培おうとしています。幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂(改定)では、こうした視点をもう少し具体的にし、子どもたちをしっかりと支えていこうとしています。それを概観することで、先生方の現状にもその視点を取り入れてもらえるようにし、現在の教育・保育実践に資するものになれば幸いです。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：福田 規秀〕</p>
講習の概要	講習Ⅲ	子どもと造形表現①
		<p>子どもの造形表現はおしゃべりのようなものです。日々の生活の中で、子どもの造形表現を支えるには、どのようなことに心がけて実践したらいいのでしょうか。</p> <p>本講では、改めて、子どもの絵の意味とその魅力について学び、そこから表現を支えるものを考えていきます。そして、保育者自身が新しい表現方法を実際に体験しながら、子どもの造形表現について理解を深めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：半田 結〕</p>

<p>講習の概</p>	<p>講習Ⅲ</p>	<p style="text-align: center;">子どもと造形表現②</p> <p>創造性豊かな人の育成に、幼児期における造形遊びは大きな役割を担っています。保育者は子ども・保育に関する専門的知識と、造形表現活動への関心の両方を持ちながら、いかに楽しく、開放感に満ちた創造的な表現の“場”を創り出すことができるか、その力量が常に試されているといえます。</p> <p>この講習では、シルクスクリーンプリント、多面体の組み立て、彩色とコラージュ等の技法を使いながら、最終的に平面作品を制作します。版の体験、素材を生かす技術、イメージを絵にする力、色彩感覚等の能力を総動員し、柔軟な発想で、創造性をどこまで発揮することができるか、楽しみながら制作を試みていただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">〔担当：柳楽 節子〕</p>
<p>評価方法</p>	<p>3日間3講習（10項目）の筆記・実技試験の成績により評価します。各講習の合計点が100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。</p>	
<p>成績評価の観点</p>	<p>講習Ⅰ</p>	<p style="text-align: center;">子どもと音楽表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの基本的な奏法を理解できているか。 ・互いの音を聴き合い、アンサンブルを楽しんでいるか。 <hr/> <p style="text-align: center;">子どもと身体表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムカルに動くことを楽しんでいるか。 ・童謡や絵本に自分なりのアレンジを加えることができるか。 ・自分のイメージや考えを他者に伝えようと表現しているか。 ・他者の動きを真似したり応答的に身体表現することができるか。
<p>講習Ⅱ</p>		<p style="text-align: center;">子どもの健康と幼児教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な保育活動の指導について考察できたか。 ・幼児教育の見方・考え方について、理解できているか。 ・主体的・対話的な保育の実践を理解できているか。 <hr/> <p style="text-align: center;">障害理解と合理的配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものおおまかな発達過程について理解できているか。 ・大脳生理、身体障害、知的障害、発達障害などについて基礎的事項を理解できているか。 ・発達的な観点から子どもの障害をとらえることができているか。 ・障害理解および障害理解教育についての適切な教育観を形成することができるか。 ・合理的配慮について基礎的事項を理解できているか。

成績評価 の観点	講習Ⅲ	乳幼児期に育みたい資質・能力の明確化とその実践について
		<p>今回の改訂の枠組みについて少しでも理解があり、これを契機に自らの実践について、謙虚な省察が出来るか、出来ているか。その上で、今後自分の目指すべき方向性を、希望や展望を持って明解に語る事が出来るか。</p>
		<p style="text-align: center;">子どもと造形表現①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な造形活動に対して、意欲的に取り組んでいるかどうか。 ・ イメージを膨らませ、自分なりに工夫することができているかどうか。 ・ 思いや意図をもった表現ができているかどうか。
		<p style="text-align: center;">子どもと造形表現②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創作することに意欲的に取り組んだか。 ・ 柔軟に発想することができたか。 ・ 素材と技法に関心を持ち、工夫することができたか。
使用する 教材等	全講習	必要に応じて資料を配付する。